平成23年7月7日中部電力株式会社

## 供給面・需要面の対策

## 1 供給面の対策

	項目	内 容	上積み供給力
1	火力機の定期点検時期の 変更および工程短縮	・新名古屋火力発電所 7-2 号(24.3 万 kW)の定期点検時期変更 ・川越火力発電所 4-4 号(24.3 万 kW)の定期点検時期変更 ・四日市火力発電所 3 号機(22 万 kW)の定期点検時期変更 ・川越火力発電所 2 号機(70 万 kW)の定期点検工程短縮 ・新名古屋火力発電所 7-4 号(24.3 万 kW)の定期点検時期変更・工程短縮 等	最大 126 万 kW
2	当社からの電力融通停止	・50Hz 地域への応援融通の取りやめ	最大 75 万 kW
3	火力機の「長期計画停止 の繰り延べ」	・武豊火力発電所 3 号機(37.5 万 kW)の長期計画停止の繰り延べ	37.5 万 kW
4	長期計画停止火力機の再稼働	・武豊火力発電所 2 号機(37.5 万 kW)を 7 月下旬から稼働予定 ・知多第二火力発電所 2 号機ガスタービン(15.4 万 kW)を 2012 年 1 月から稼働予定	最大 37.5 万 kW
5	水力発電所の作業停止 時期の変更	・二軒小屋 (2.6 万 kW:静岡県静岡市)、北又渡 (2.42 万 kW:長野県飯田市)、三穂発電所 (0.6 万 kW:長野県飯田市) 等の作業停止時期の変更	最大3万kW
6	他事業者からの電力購入	・大規模な発電設備を保有する事業者からの電力購入	3万kW
7	関西電力との連系線 (三重東近江線)の緊急的 な運用容量拡大	・関西電力から中部電力向きの連系線の運用容量を暫定的 に拡大 (+28万 kW)	
	発電所および関連する 送変電設備等の重点的な 点検	・発電所および関連する送変電設備等において、安定供給 に向けた夏季前の重点的な点検を確実に実施	
	燃料(LNG、石油)の 追加調達	<lng>・カタールの LNG を中心に追加必要量(約320万トン)を確保できる見通しを得た。 &lt;石油&gt;・石油会社・商社を通じて追加必要量(約130万kl)を確保できる見通しを得た。</lng>	

## 2 需要面の対策

	項目	内容	
1	自家用発電設備の発電 量増加等のお願い	大規模な工場等のお客さまに対して、月曜日から水曜日の 13 時から 16 時に自家用発電設備の発電量増加をお願いし、当社からの受電電力が約 6 万 kW 減少する見込み。	
2	需給調整契約(計画調 整契約)の拡大	大規模な工場等のお客さまに対して、計画調整契約(工場の休日等を土日から平日に変更する契約)の調整いただく日数増等をお願いし、約9万kWの追加調整力を確保した。	
3	お客さまの訪問や当社ホームページ等を活用した節電のお願い		
4	当社およびグループ会社の全事業場における節電の徹底	当社事業場において、7月~9月の月曜日から水曜日13時~16時に次の対策を追加して実施する。 ・空調機器の運転停止 全事業所を3グループに分け、各グループ上記時間帯のうち1時間・窓際消灯の実施 ・冷房温度28度の徹底、照明やエレベータ運転の間引、手洗い給湯停止、夏季軽装の前倒し等を実施	